

太陽光展示会「PVJapan」注目商品を見る

太陽光発電協会(略称:JPEA、本部・東京、下村節宏代表理事)三菱電機(株)は7月24、26日まで、太陽光発電に関する展示会「PVJapan」を東京で開催したが、屋根業界からの注目も高い住宅用太陽光発電モジュールの新商品や、モジュール支持部材、簡易施工システム、安全対策部材なども披露された。おもな展示を見る(7面に関連記事)。



(株)カネカは、「屋根と一体化した外觀」が特長の化粧スレート専用のモジュール「ソルテイレックス」と、瓦一体型モジュール「ヴィソラ」(写真)を模擬屋根に展示した。どちらも眩しさを抑えるタイプの新商品。従来品は光沢のあるモジュールだった。担当者によると、順次、新商品に切り替えていく。展示では、従来品と新商品にライトを当てて眩しさの違いを来場者に体感させていた。また公的研究機関の「眩しさ」の測定結果もデータで示し、光沢度の低さをアピール。



(株)吉岡も、発電する屋根材と銘打って屋根材型太陽光発電システム「エコテックルーフ」を展示した。本格販売は来年1月の予定。担当者によると、モジュール自体の飛び火試験を8月に実施し、その結果が今年11月頃に出る。システムを分かりやすく伝えるため、小型のモジュールも(写真右下)。



(株)ナスは、屋根材型太陽光発電システム「カナソーラーレール」を展示(写真)。同商品は屋根材機能を有するガルバリウム鋼板の架台にモジュールを一体化したもので、屋根面を最大限に活用できることから、全量買取制度対応の「10kW以上」の搭載も住宅屋根で可能とPR。



講師を務める連見 日、東京で

あぽっとらい

雨漏り診断士協会 (本部・東京、蓮見恵一会長) 恵建設(株) 会長は2005年5月、東京都の認証を受けてNPO法人として設立された。運営の中心となるメンバーは、12名で、建築士や施工管理士、防水、外壁、塗装工事を行う工事業者らで構成される。同協会の主たる事業は雨漏りに関する調査研究や教育研修のほか、スキルアップセミナーや、「雨漏り診断士」の登録認定。事業の概要を見てみる。

(茂)

雨漏り診断士協会

雨漏り診断は、同協会の看板事業。今年4月1日現在、協会が認定した登録診断士は全国に299名いる。協会に寄せられた雨漏り相談に対し、協会が雨漏り診断士を紹介している。資格取得は企業にはなく、代表者や従業員個々に与えられ、「信頼の証」としてリフォーム営業などに使う

ケースが増えているという。資格試験には1社から複数の従業員を受験させる会社もある。診断士資格取得試験は

屋根

リフォーム

毎月の検査、8月の検査、現場の検査、受検料、資格、セミ、で資、う。